

令和3年8月23日開催

保健医療・高齢者等福祉対策特別委員会

委員長報告

令和3年9月定例会

委員長 大関修克

去る8月23日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の1「保健所の令和2年度実績について」報告を求めましたところ、書面により次のような説明をいたしました。

保健所管理課においては、市民からの医療安全相談393件のほか、人口動態調査等の各調査、病院等への立入検査及び医師等の免許の申請に対応したとのこと。

保健所疾病対策課においては、指定難病等医療給付受給者数が4,068人であったほか、肝炎治療医療費助成等の受付、新型コロナウイルス感染症を含む各感染症の調査、結核対策及び精神保健福祉支援を行なったとのこと。

保健所地域保健センターにおいては、おたふくかぜ7,828件、風しん699件の任意予防接種費用の助成のほか、小児慢性特定疾病医療費の給付、特定不妊治療費の助成、胃がん検診及び口腔がん検診を実施したとのこと。

保健所生活衛生課においては、理容所の届出52件をはじめとする生活衛生に係る申請等の処理や施設の監視のほか、動物管理センターでの犬及び猫の収容、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成を行なったとのこと。

保健所食品衛生課においては、1,333施設の食品監視指導のほか、食品営業許可及びと畜検査を実施したとのこと。

保健所衛生検査課においては、感染症検査を1万1,842検体実施し、そのうち新型コロナウイルス感染症検査は1万1,423検体実施したとのことでありました。

以上のような説明に対して、食品監視指導施設数が計画数に達しなかった理由について問われ、これに対して、新型コロナウイルス感染拡大に伴い特定の日に大人数で監視を行う一斉監視を自粛し、個別の監視のみになったためであるとのことでありました。

このほか、新型コロナウイルス感染拡大による胃がん検診及び口腔がん検診の受診者数への影響について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の2「新型コロナウイルス感染症対応状況について」報告を求めましたところ、書面により次のような説明をいたしました。

保健所では、電話相談をはじめ感染疑いのある方の受診調整、検体搬送、PCR検査の実施、陽性者への対応、自宅療養者や濃厚接触者の健康観察及び報道対応等を行なっているとのこと。

新型コロナウイルス感染症の発生から現在までの保健所の対応として、令和2年1月の国内感染初確認からいち早く感染対策を講じ、感染拡大の状況に合わせて職員の増員や管理システムの導入などの対応を進めてきたとのこと。

また、ワクチン接種の状況については、令和3年5月に市内5か所の集団接種会場及び約140か所の個別医療機関で接種を開始し、6月には集団接種会場を旧そごう川口店1か所に集約するとともに、5か所の大規模病院及び13か所の有床病院でも接種を開始したことで接種人数を拡大し、8月4日までに33万8,650回の接種を実施したとのことであります。

以上のような説明に対して、自宅療養者が増加している状況下でのパルスオキシメーターの貸与方法について問われ、これに対して、従来は発生届の受理、聴き取り調査の後、自宅療養が決定した方に対して配送していたが、現在は発生届の受理後、居所と症状を確認し速やかに配送しているとのことであります。

このほか、発生届の提出状況について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

以上で報告を終わります。